

職場の人間関係について

「みんな仲良く」の罠

同じ職場や組織にいる人間どうし、みんな仲良くしましょう。このような話をよく耳にしませんか？

ともだち100人できるかな〜という唄があるように、私たちは、昔から友だちが多いことは良いことだ、誰とでも仲良くできる人間にならなければいけない、といったことを教わってきました。確かに、周りの人たちと良好な人間関係を築くということ自体は、とても大事なことです。しかし、**私たち労働者にとって健全な人間関係とは一体何でしょうか？**

例えば、会社は、職場での人間関係を深める」という大義名分のもと、JRK、業務研究等の勤務時間外での自主活動を課してきます。

これまで、**会社と労働者では、持つべき考えが違うということ**を繰り返して述べてきました。会社が利益を第一とするのに対し、私たち労働者は生活するために働いています。自主活動によって、みなさんの生活は良くなりましたか？

私たちに必要なのは、よりよい生活をするために、現在の労働条件について、一人ひとりが考え、話し合うことです。

思考停止に陥らないために

全体主義という言葉をご存知ですか？これは簡単にいうと、余計なことは考えずに、とにかく全体に従うべき」という考えのことです。あなたが勝手なことをしたら、みんなに迷惑がかかりますよ」といった類の説法を思い出していただければ分かりやすいかと思えます。

みんな頑張っているから」 きついのはみんな同じだから、**このような言葉を、有無を言わずに受け入れていませんか？** 組織内が、何の疑問も感じない人間ばかりになることで、いちばん都合がいいのは誰でしょうか？

学校でのいじめや、企業による不祥事もこのようにして発生します。少しでもおかしいと感じたことは、**すぐにメモをして、身近な人に相談しましょう。**

国労に入ったら、急に周りの対応が変わったけど、何か後ろめたいこともあるのかな…？



どうして、〇〇さんと喋ったらいけないの？



若い力

第 78 号

2017年 9月1日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515